

【高等学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	佐賀県立鳥栖商業高等学校	達成度(評価) A:十分達成できている B:おおむね達成できている C:やや不十分である D:不十分である
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 各評価項目ともに、数値目標はおおむね達成できた。B評価に留まったいくつかの項目については、今後も改善を進めていく。 確かな学力習得を目指し、全職員で授業改善や指導方法の工夫に努める。 業務内容の見直しと改善を図り、DX化を進めながら、組織的かつ効率的な業務遂行を目指す。 広報活動については、県内高校の中でもSNSによる情報発信回数が最も多い。引き続き効果的に取り組みたい。 	
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 流通のクロスポイントである鳥栖市で、ビジネスに関する専門的な知識と技能を習得し、地域に貢献する、創造力豊かな人材を育成すること。 習得した知識や技能を生かし、地域の行政や企業等と様々に協働しながら、学校・地域双方の活性化に寄与すること。 	

3 スクール・ポリシー	<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>商業に関する専門的な知識や技能習得への意識が高く、将来の進路目標を実現するために意欲的に学習に取り組み、部活動や学校行事など、幅広い分野の活動に積極的に取り組もうとする生徒</p>	<p>カリキュラム・ポリシー</p> <p>○教科等横断的教育課程 新しい時代に必要となる資質能力を教科横断的に育成する。 ○深い学びの実現 主体的・対話的な深い学びを通して、思考力、判断力、表現力を育成する。 ○社会に関わった教育課程 社会・地域の課題を教育課程と連携させる。 ○キャリア教育の充実 就業に関わる体験的な学習を通じて、望ましい勤労観、職業観を育成する。 ○PDCAサイクルの確立 生徒の姿や地域の現状等に基づき教育課程を編成、実施、評価して改善を図る。</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー</p> <p>○表現力 - 思いを伝える力- 自分の気持ちや考えを表現・発信し、わかりやすく相手に伝える力 ○課題解決力 - 未来につなげる力- 自ら課題を見つけ、対応策を考え、計画的に解決しようとする力 ○行動力 - 踏み出す力- 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組もうとする力</p>	<p>4 本年度の重点目標</p> <p>「なりたいたい自分になるために」をスローガンに、 (1) 自ら考え、行動する力の育成 (2) 安心安全な学校作り (3) 教育活動の創意工夫 (4) 地域連携の促進</p>
-------------	---	---	--	--

5 重点取組内容・成果指標 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
				達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○言語活動を充実させ、主体的な学びを重視した授業を推進。 ○基礎学力の向上	○「学んだ事柄を言葉で説明することで、学力の向上や話し合い、発表への意欲が高まった」と答えた生徒80%以上。 ○漢字テスト平均正答率80%以上。	・各教科等で、授業で学んだ事柄を他者に説明する場面を設ける。 ・各種大会やコンテスト等の参加を呼びかける。 ・漢字テスト、朝読書、ビブリオバトルを実施する。	A	「学んだ事柄を言葉で説明することで、学力の向上や話し合い、発表への意欲が高まった」の項目で肯定的回答の生徒88.7% ・「朝読書や生徒の発表やスピーチ活動を通じて、能力向上を図っている」の項目で肯定的回答の保護者92.7%、教員100%	A	・課題研究などを通じて、探究心を育み主体的な学びを実践している。 ・活動報告会などでは自分の言葉で発表できていた。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動。	○「高校生らしい『心遣い』の発言や他者に対して思いやりや感謝の心をもって接することができる」と答えた生徒90%以上。	・「情報処理」および「ホームルーム活動」において、情報モラル教育や人権教育を実施する。 ・人権教育に関する講演会を実施する。	A	「高校生らしい『心遣い』の発言や他者に対して思いやりや感謝の心をもって接することができる」の項目で肯定的回答の生徒97.7% ・「講演会等を積極的に実施し、思いやりやマナー教育、規範意識の向上に役立っている」の項目で肯定的回答の保護者94.7%、教員96.7%	A	・さまざまな課外活動などを通じて社会性を身につけている。また、学校行事でのクラスや団の結束力などが見られた。 ・日常生活で挨拶を大きな声でできている点は素晴らしい。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実。	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。	・いじめの発覚をしたら、3日以内に対策委員会を開催する。 ・いじめの対応についての研修を開く。	B	「いじめアンケートや面談等を実施して、いじめの未然防止や早期対応に努めている」の項目で肯定的回答の保護者89.0%、教員93.1%	B	・発見が難しいことと、どこからかいじめか線引きが難しいが、アンケート等で把握する取組がよい。 ・いじめを覚知したのちに、保護者へ共有するタイミングが今後の課題である。 ・覚知された個々のいじめ事案に対して、丁寧に対応している印象を持った。
	●ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動。	○「佐賀に誇りや愛着を感じる・どちらかといふと感じる」と回答した生徒80%以上。	・郷土学習資料や「佐賀語り」、卒業生講話等を活用した授業を行う。 ・地元企業の魅力を伝えるキャリア教育、就職活動の支援を行う。	A	「佐賀に誇りや愛着を感じる」の項目で肯定的回答の生徒84.5% ・「郷土学習資料を活用し、ふるさと佐賀への思いを醸成するために努力している」の項目で肯定的回答の保護者86.4%、教員100%	A	・地元企業への就職などが多く、地元愛の醸成ができている。
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成。	●「健康に良い食事をしている」生徒95%以上。	・外部講師を招き食育に関する講習会を実施する。	A	「健康に良い食事をしている」のアンケート項目で肯定的回答の生徒94.5% ・「生徒の健康管理や食事について適切な指導を行っている」の項目で肯定的回答の保護者90.7%、教員100%	A	・生徒の肯定的回答が高いため成果指標は達成できているが、肯定的回答をしていない生徒への個別指導がされるとよい。
	●安全に関する資質・能力の育成。	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・生徒会と月1回、交通安全指導を実施する。 ・外部講師を招いて交通安全講話を開催する。 ・集会等で交通安全について話し、生徒の意識を高めていく。	A	・生徒の交通事故は軽微な事故が4件だった。 ・「交通事故防止や犯罪に巻き込まれないような指導の徹底を行っている」の項目で肯定的回答の保護者90.4%、教員100%	A	・通学路点検の際に生徒の自転車マナーなどが良好であることを確認できた。 ・さらに生徒自身の意識が高まったかどうかかわかるとよかった。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・年次休暇取得を推進する。 ・定時退勤日及び閉庁日を設定する。 ・業務内容の精査、行事の見直しを行う。	B	・令和7年の年次休暇取得日数平均12日	B	・おおむね達成できている。 ・年次休暇取得日数平均12日は、努力の結果と思う。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上。	○「配慮を要する生徒の特性理解に努めた」と回答した教員90%以上。	・配慮が必要な生徒の情報を会議等で共有する。 ・講師を招聘し、早期に職員研修を行う。	B	・配慮が必要な生徒の情報を中心に会議等で共有を図った。 ・5月に特別支援職員研修を行った。	B	・生徒の特性に合わせた教育が実践されている。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
				達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○心身ともに健康な生徒、および安全安心な学校づくり	○心身ともに健康な生徒、および安全安心な学校づくり。	○健康に関するアンケートで「心身ともに健康である」と回答する生徒85%以上。	・保健だよりを用いて、心と体の健康について情報発信をする。 ・心身の健康に関する掲示物を作成し、保健室や教室に掲示する。	A	「心身ともに健康である」の項目で肯定的回答した生徒96.1% ・「生徒の健康管理や食事について、適切な指導を行っている」の項目で肯定的回答の保護者90.7%、教員100%	A	・学校行事等での生徒のはつらつとした姿を見ることができた。
○確かな学力習得と進路実現に向けた、創意ある教育活動	○専門知識・技術の向上 ○課題研究等とおして探究活動を充実させる。	○「資格取得を通して、達成感を感じることができた」と答えた生徒80%以上。 ○「地域課題の解決に向け、主体的に取り組んでいる」と答えた生徒80%以上。(3年生)	・ICTの活用、習熟度別指導により、個々に対応した指導を行う。 ・課題研究では学科間に捉われず、グループ活動をさせる。 ・外部講師を招聘し、幅広い知識を身に付けさせる。	A	「資格取得とおして、達成感を感じることができた」の項目で肯定的回答の生徒96.3% ・「補習や習熟度別授業を通して、資格取得を推進させている」の項目で肯定的回答の保護者97.0%、教員100% ・「地域課題の解決に向け、主体的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答の生徒93.7% ・「地域課題の解決に向け、地域活性化に貢献しようとしている」の項目で肯定的回答の保護者91.4%、教員100%	A	・3年生の課題研究の発表会は素晴らしい、地域の課題解決に向けて頑張っている様子が見えかけた。 ・資格取得を通じて学びの習慣が養われ、挑戦することの大切さを学んでいる。
	○生徒・保護者が希望する進路の実現。	○生徒・保護者が「希望する進路が実現できた」と回答した生徒95%以上。(3年生)	・地元企業への訪問や情報交換を重点的に行い、情報提供を行う。 ・四年制大学等進学希望者に進学補習を実施する。	A	「生徒・保護者が希望する進路が実現できた」の項目で肯定的回答の生徒97.7%、保護者98.8%	A	・進路指導の先生方の熱心な指導が子どもたちに伝わり、先生の気持ちに応えるためにも努力しようとする姿が見られた。
★唯一無二の誇り高き学校づくり ○関係機関との連携を促進し、地域に貢献できる人材の育成	★商業教育の実践的・体験的な活動の充実と、県内外への情報発信。	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合85%以上、教職員の割合90%以上。 ★「地域課題の解決に向け主体的に取り組んでいる」と答える生徒(3年生)95%以上。 ★県外からの入学者数3人以上。	・「課題研究」で学科・コースの専門分野を生かして地域や企業と連携し、調査研究や作品制作などを主体的に行う。 ・地域経済で活躍することを想定して地域の課題について調査・研究し解決する取り組みを実施する。	A	「自分の学校を中学生に勧めることができる」の項目で肯定的回答の生徒90.3%、教員100% ・「地域課題の解決に向け、主体的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答の生徒93.7% ・「Instagramやホームページ等で本校の魅力を発信している」の項目で肯定的回答の保護者96.0%、教員100% ・県外からの志願者数4人	A	・Instagramでの情報発信など、他校にはない取組が見られた。 ・地域や企業と連携した課題研究がよくなされていた。 ・開発した新商品の「その後」がわかると面白いと思った。

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望	<p>最終評価及び学校関係者評価では、すべての項目でB以上となり、目標をおおむね達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が落ち着いて学校生活を送り、学習や部活動に力を注ぐことができるような教育活動の実践ができた。 学習及び諸活動での地域との連携を図る。 進路達成に向けた様々な数値を上げるとともに、中学生やその保護者及び中学校教職員の本校への理解度を高めるような取組を模索していく。
----------------	--